

オランダ・デンマーク低騒音舗装調査団との意見交換会報告

維持管理研究室

2005年11月17日当研究所に、Dutch Road and Hydraulic Engineering Institute of the Directorate General of Public Works and Water Management (DWW) 及び、Danish Road Institute (DRI) から低騒音舗装調査団が5名来所し、排水性舗装等の低騒音舗装及び冬期路面管理について当研究室及び東日本高速道路株式会社の担当者と意見・情報交換会を行いました。



相馬道路部長からの挨拶

当研究所からは、千葉研究員が『積雪寒冷地における排水性舗装の現状と今後』、『排水性舗装の冬期路面対策としての効果』について、安倍主任研究員が『積雪寒冷地における排水性および耐流動対策舗装切削材の舗装用骨材としての適用性』について、東日本高速道路株式会社から高速道路の冬期路面管理やハイブリット舗装についての説明を行いました。

調査団代表からは、DWWのDr. Rob HofmanによるDWWでの研究内容及び、オランダでの冬期路面管理について説明がありました。

午後からは、当研究所で研究を実施している高粘度高耐久バインダを使用した排水性舗装（空隙率20%・23%）、積雪寒冷地用高粘度改質バインダを使用した排水性舗装（空隙率20%）の試験施工箇所及び、東日本高速道路株式会社で実施しているハイブリット舗装の施工現場、岩見沢管理ステーションを視察しました。

限られた時間の中、活発な意見交換が行われ滞りなく終了することができました。

(文責：千葉 学)



DWW Dr. Rob Hofman による説明の様子



意見・情報交換会の様子